

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する
法律に規定する第一種使用規程承認の申請に係る学識経験者の意見

1 第一種使用規程の承認の申請者、遺伝子組換え生物等の種類の名称及び第一種使用等の
内容

(1) 名称

耐冷性ユーカリ (*des9. Eucalyptus globulus* Labill.)

(2) 第一種使用等の内容

隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為

(3) 申請者

国立大学法人 筑波大学 学長 永田 恭介

2 当該申請に対する意見

1 (1)に係る申請については、平成23年6月20日付けで承認された申請(以下「前回申請」という。)について、使用期間の延長等内容を一部変更するものであり、以下の点について確認及び審査を行った。

(1) 期間の延長

前回申請では、若木における耐冷性、越冬性を評価することを目的としていたため、約2年間の実験期間としていたが、反復試験による更なるデータの蓄積を行い、前回申請期間における実験データと合わせ、より確度の高い統計的なデータ処理を行うというものであり、期間の延長に対する特段の意見はなかった。

(2) 緊急措置計画書における実施体制の変更

組織変更や人事異動に伴う一部変更で、実験責任者が変更するものではなく、引き続き、緊急措置の実施体制がとられるものであり、緊急措置計画書における実施体制の変更に対する特段の意見はなかった。

(3) 生物多様性影響評価書を踏まえた結論

上記内容以外、前回申請内容と特段の変更点がないことを踏まえ、本遺伝子組換えユーカリを第一種使用規程に従って使用等をした場合に生物多様性影響が生ずるおそれはないとした生物多様性影響評価書の結論は妥当であると判断した。

3 意見を聴取した学識経験者

(敬称略 50音順)

氏名	現職	専門分野
いさぎ ゆうじ 井 鷺 裕 司	国立大学法人 京都大学大学院 農学研究科 教授	生態学
いとう もとみ 伊 藤 元 己	国立大学法人 東京大学大学院 総合文化研究科 教授	保全生態学
くらた のり 倉 田 の り	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 教授	植物遺伝学
こめだ よしぶみ 米 田 好 文	国立大学法人 東京大学大学院 理学系研究科 教授	植物分子遺伝学
しのざき かずこ 篠 崎 和 子	国立大学法人 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授	植物生理学
しのはら けんじ 篠 原 健 司	独立行政法人 森林総合研究所 研究コーディネータ	植物育種学
たけだ かずよし 武 田 和 義	国立大学法人 岡山大学 名誉教授	植物育種学
たなか ひろし 田 中 宥 司	新潟薬科大学 応用生命科学部 教授	植物育種学
なんば しげとう 難 波 成 任	国立大学法人 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授	植物病理学